

こときこだより

令和元年6月号
足立区立中川東小学校
校長 豊田 純子
ことばときこえの教室

季節は梅雨の6月を迎えました。日中は蒸し暑く、汗をかく子供たちの姿が多く見られるようになりました。お子さんの体調管理には十分気をつけて過ごしてください。

さて、それぞれの学校では運動会が実施されました。子供たちからは、「今年は応援団になって練習をがんばっているよ。」「ソーラン節を踊るよ。」「運動会は楽しかった！」等、いろいろ話を聞くことができました。ことばの教室では、常に、出来事などを思い出して話したり相手の問いかけに応えたりすることを大事にしています。そして、人とやりとりする力を高めていきたいと考えています。

・・・6月の予定・・・

- 6月 4日(火) 城東ブロック研究会
- 6日(木) 全校遠足*全日指導はお休み
- 7日(金) 後上鐵夫先生専門家診断 *全日指導はお休み
- 8日(土) 中川東小土曜授業
- 11日(火) 武井良子先生専門家診断(午後)
- 12日(水) 区小研
- 19日(水) ことばのグループ学習
- 25日(火) 都難言協通級学級指導研究会
- 26日(水) 小中連携日
- 27日(木) 在籍学級担任会 *午後の通級はお休み



・・・7月の予定・・・

- 7月 2日(火) 城東ブロック研究会
- 6日(土) 中川東小土曜授業
- 9日(火) 都難言協専門研究会
- 11日(水) 区小研
- 19日(木) 通級終わり
- 22日(月)～8月30日(金) 夏季休業

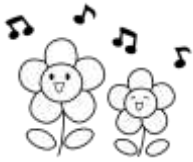


在籍校の先生方へお知らせ

6月27日(木)に、**在籍学級担任会があります。**

在籍校の先生方に、ことばの教室のことや指導の様子について、
知っていただく機会になればと思います。

各校宛にお知らせと出欠表を送付させていただきました。是非ご参加ください。



「発音の基礎」～咀嚼する(よく噛むこと)～

発音の役割を担うのは、くちびる(口唇)、ペロ(舌)、下あご、上あご、のど等の口腔器官です。これらの口腔器官の本来の役割は、食べ物を食べたり飲んだりすることで、そのことで培われた動き(協調運動)を発音に応用しています。つまり、「噛むこと」「吸うこと」「飲み込むこと」が発音の基礎であると言えます。

「噛むこと」は、食べ物を砕いて、唾液と混ぜ合わせてかたまりを作り、飲み込みやすくする過程です。口を開けたり閉じたりする動きで頬を繰り返しよく動かします。下は食べ物を右へやったり左へやったり、飲み込む時に重要な役割をします。噛むことで、歯、噛むための筋肉群、あごの関節、舌、口唇、頬等の器官が協調します。発音では、特に下あごと舌の運動が最も活躍します。

「吸うこと」は、液体や液状の食べ物を、直接またはストロー等で口の中に吸い込む動作です。下あごは、軽く下に降ろした位置を保ち、上下の口唇をすぼめるか又は合わせます。そして、のどひこの近くにある鼻に通じる穴を閉じ、頬、舌等の筋緊張や運動によって口の中の圧力を下げます。この動きによって発音に必要な口唇運動、頬の位置の保持、鼻への息漏れ防止、舌の運動等を同時に機能させることができます。

「飲み込むこと」は、噛むことによって形作られた食べ物のかたまりや吸った食べ物を、①口からのどへ ②食道から入り口へ ③胃まで、を連続して送るプロセスです。発音では、特に①と②の動きが関連してきます。

家庭での食事や学校での給食などでは、特に、よく噛む(咀嚼する)習慣をつけていただきたいのです。この「そしゃく」が活発に行われるためには、食事がおいしく、楽しく、安心して摂れることが大切です。おいしく食べるためには、その食材が好きなものであること。苦手なものは、発音の問題が改善するまでは避ける配慮をお願いします。その好きなものを、噛むことが必要になる調理の工夫もお願いします。例えば、お肉では、ハンバーグよりもソテー状にするとか。味付けも、和洋中華エスニックなど、お子さんの好みに合わせてはいかがでしょうか。最後に、咀嚼のポイントを2つ。

- ① 口に入れる量を小さくする。(ほおばらない)
- ② 唇を閉じて噛み、飲み込む。